

会報

第 124 号

1997年 11月1日発行

発行人 圓口 佳 昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内20
 TEL/FAX 075-981-0063, 982-8064
 nomasuda@mbx.kyoto-inet.or.jp
 KYOMYCOM@mbx.kyoto-inet.or.jp

京都マイコン研究会

(社) パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会 祝 創立20周年記念特集

併催 京都マイコン研究会
 「パソコン20年を振り返って」

岩 井 宏 安

私のPC暦は、8ビット・16ビットのMS-DOS・32ビットのWINDOWS3.1そして、WINDOWS95と重ねてまいりました。この後、多分WINDOWS98の導入となるように思います。WINDOWSを手にしてからはOSに振り回されるだけで、何一つソフトの作成はしていませんがWINDOWS98に嵌まり、抜け出したのち、ボケ防止で自作ソフトのWINDOWS版を考えています。ソフト完成は一年後を想定していますが、突然結果を送れる日を夢見る今日このごろです。

研究会の皆さん、あなたがた全てがPCオタクと決め付けています、失礼があればお許しください。ぜひ一緒にNECではないですよ、MSとインテルの提唱するPC98（ニューハードデザイン）へ誰よりも早く取り組んでみませんか、みんなで挑戦すれば恐くはない。あなた方全てが三蔵法師、そしてPC98は孫悟空、手のひらに載せる取組の提案をいたします。

迫る！

来る11月3日 パソコンイベント開催予定！

八幡市民まつり 工業部会ブースにて

詳細：本号11ページ、12ページに掲載

次回例会

日時 97年 11月1日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

内容 インターネット部会（若井、若井）
 完成したHTML。
 八幡市市民まつり
 パソコンイベントについての準備と
 経過報告（実行委員長 若林氏）

例会報告

1997年 10月4日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 若林、中辻、若井、中村
 河原、増田、圓口、若井 8名

内 容

パソコンチューンナップハード部会
 （その後ノートPCは？）
 インターネット部会（若井、若井）
 完成したHTML。

講演／講習会
記録より

今、なぜインターネット！

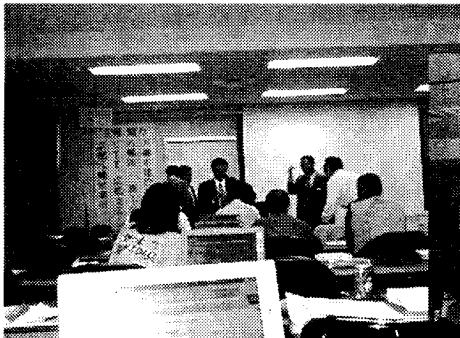
nomasuda

第3回「今、なぜインターネット！」が下記の要項で開催いされ当会員からは、インターネット部会副部長の若林氏、会員の中村氏と私（増田）が参加いたしました。

NTTマルチメディア営業企画室から、担当者総勢10名ほどが朝10時頃から午後2:00頃まで会場設定され、外線から、2回線引き込みLANケーブルで計10台のノートパソコンで講習をされました。

初めはインターネットを取り巻く世界の環境から日本の現状までを小谷利夫氏が解説され。次に、女性インストラクターがブラウザを実際に操作して、初めからピックアップされてあるサイトにネットサーフィンをするというのが今回の課程でした。

この講習会シリーズは、今回からはNTTさんにお任せしたのですが、第1回、第2回と私（増田）と野沢さん（講師）とで担当してきました。NTTさんの行動を見て、17インチモニターセットで7台も提供してLANで接続。搬入から2時間余りで2人と若干のお手伝いの方で、全てを設定したあれば（NTTさんは驚いていましたが。）講師をして頂いた野沢 女史以下お手伝い頂いた方ご苦労さまでしたとお礼を申し上げます。（野沢 女史は10月中旬に九州で学会講演をされました。）



講習前のNTTマルチメディア営業企画室スタッフの打ち合わせ



小谷利夫 室長のインターネットを取り巻く世界状況の解説

会員各位様へ

増田則雄

去る10月24日「今、なぜインターネット！」と題して開催しています4回シリーズ無料講演で下記の要項で開催いたしました。

若林インターネット副部長が参加していただき無事終了いたしました。

日時 10月24日2:00～5:00

場所 八幡市商工会館 2F会議室

講演 NTT 京都支店 マルチメディア営業企画室
室長 小谷利夫氏

内容 OCNの概要

今回の参加者は山城地区・学研都市周辺の方々
の希望参加者11名がありました。当協会のピアール
とともにパソコンに関することも伝えました。

予告 11月はパソコン20台でインターネット体験

今回と次回、NTTにおまかせしています。

nomasuda@mbox.kyoto-inet.or.jp

増田さんへ

小谷利夫は私の上司です。わたしはこのMM室
の、「こねと担当」をしています。

こねと担当は支店に1人なので、多忙です。

主に学校にマルチメディア環境を提供しその普及と
サポートを担当する仕事です。

ですから、学校の先生方にこの様なインターネットの
講習会などを企画し実施しています。

これは、本社直轄の「こねとプラン推進協議会」
のプランに沿って数々の施策を各支店で、実現するもので
す。

この10月11日にも京都の過疎地、宕陰中学校と
東南アジアのシンガポール・マレーシア・インドネシアの3国
をフェニックスというTVカイギシステムで結び、アジアこども
野鳥会議を行いました。

今回の八幡のインターネット体験講座は、多分私の他の
グループMBC21が行うものとおもいます。

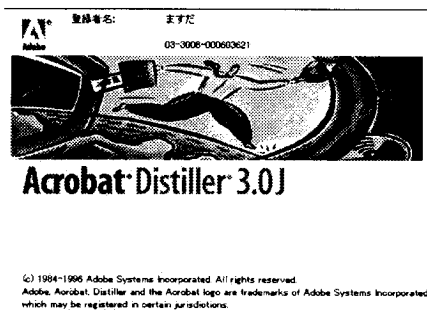
宜しくお願いします。

このような事で、何かご希望が有りましたら、これからどし
どしマルチメディア営業企画室へご一報ください。

97. 10. 15 神賀 skamiga@mbox.kyoto-inet.or.jp

インターネットパブリッシング

NOMASUDA



ここ数年の内に、確立されるであろうと言われているインターネットパブリッシングの世界。その一つであり、定義され始めているのがこの Adobe Acrobat 3.0J である。

これは、上記の特殊なアプリケーションで、PDF という拡張子の付いたファイルを (フィルターと言うべきか) マルチプロセッシングで処理する高速 RIP アーキテクチャ Adobe PostScriptExtram で変換し、電子メールで送受信しオンデマンドプリンティングワークを実現しようというものです。

この利点は、作成したファイル容量が10分の1以下になり800倍まで拡大しても元のままの鮮明さを維持していて、さらにそのファイルを再編集出来るという優れた物です。ただし、使用フォントをポストスクリプトフォント化にしなければならないという、みなさんが今までほとんど知らない世界に入らなければならないのです。以下にその内容を数回に渡り掲載する事にいたします。

Acrobat Distiller の使用

Acrobat Distiller は、ポストスクリプト情報をもとに PDF ファイルを作成します。作成された PDF ファイルは、Acrobat Exchange や Reader プログラムを使って、簡単に閲覧やプリントができます。また、Acrobat Distiller で作成した PDF ファイルには、元の書類のフォーマット、グラフィック、写真画像などをすべて保持できます。

Distiller を使って PDF ファイルを作成するには、通常 2 回の手順で行いますが、書類作成に使用するプログラムを実行するのに必要な RAM に加えて、約 20MB のアプリケーション RAM があれば、これを 1 回の手順で行うことができます。

2 回の手順で処理するには：

- 1 ポストスクリプトファイルを作成して、ハードドライブか監視フォルダに保存します。
- 2 Distiller でポストスクリプトファイルから PDF を作成します。

1 回の手順で処理するには：

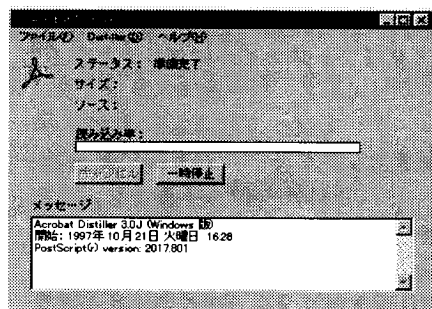
通常ポストスクリプトファイルの作成に使用するアプリケーションから、元の書類を記述するポストスクリプト情報を直接 Distiller に受

コマンド

ファイル
開く...
終了

編集
取り消し
カット
コピー
ペースト
消去

Distiller
環境設定...
オプション
フォントの場所...
監視フォルダ...



け渡して、Distiller で自動的に PDF を作成するようにします。この自動処理は、Distiller とともにインストールされる Distiller Assistant というユーティリティで管理されます。詳細は Assistant の使用を参照してください。

通常は、Distiller の圧縮およびフォントの初期設定を使用すると、サイズが比較的小さい効率的な PDF ファイルを作成できます。

ファイルのサイズや画質をさらに細かく制御する場合は、初期設定オプションを簡単に変更して制御できます。詳細はのジョブオプションの選択を参照してください

ポストスクリプトファイルの作成

Distiller では、ポストスクリプトファイルに含まれる元の電子書類のページ記述を解釈して PDF ファイルを作成します。

- Windows でのポストスクリプトファイルの作成
- Macintosh でのポストスクリプトファイルの作成
- ポストスクリプトファイルの命名
- ポストスクリプトファイル作成のヒント

Windowsでのポストスクリプトファイルの作成

Windows 95 で PDF 作成用のポストスクリプトファイルを出力するには、AdobePS 4.1J プリンタドライバを使用します。このドライバは、Adobe Acrobat 3.0J CD-ROM からインストールできます。

注意：Adobe Acrobat 3.0J CD-ROM に入っている AdobePS 4.1J ドライバには、多くの重要な修正が含まれています。AdobePS4.1J ドライバをすでにインストールしてある場合は、Acrobat 3.0J をインストールしてから、CD-ROM に入っているプログラムを使って、再び AdobePS 4.1J ドライバをインストールしてください。

注意：PDF 作成用のポストスクリプトファイルを作るには、PScript ドライバは使用できません。また Windows NT 上で作ったポストスクリプトファイルは使用できません。

ドライバをインストールして、インストール済みのプリンタのリストに Acrobat Distiller を追加すると、ほとんどの Windows 用アプリケーションでポストスクリプトファイルを作成できます。

Acrobat Distiller をネットワークで使用する場合、Acrobat Distiller が監視しているフォルダ内にポストスクリプトファイルを直接保存します。

Adobe ドライバを使って Acrobat Distiller J PPD を追加するには (Windows95)

Adobe ドライバを使って Acrobat Distiller J PPD を追加するには (Windows 95)

- 1 まず、Acrobat と Distiller Assistant をインストールし、Acrobat3.0J CD-ROM にある「Drivers」フォルダから、AdobePS 4.1J プリンタドライバのセットアップユーティリティを起動します。
- 2 画面の指示に従って使用許諾契約書を受け入れ、セットアッププログラムをローカルディスクにコピーします。
- 3 プリンタの種類としてローカルプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。
- 4 「System」フォルダ内の使用可能な PPD のリストから Acrobat Distiller 3.0J を選択し、「次へ」をクリックします。
- 5 利用できるポートのリストから「FILE:」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 6 通常使うプリンタとしてインストールの「いいえ」オプションを選択して、「次へ」をクリックします。
- 7 Acrobat Distiller 3.0J のプロパティシートが呼び出されたら「OK」をクリックします。
- 8 「終了」をクリックして、セットアップユーティリティを終了します。
- 9 スタートメニューで設定／プリンタを選択して、Acrobat Distiller 3.0J を右ボタンでクリックし、「プロパティ」を選択します。
- 10 フォントタブをクリックし、「テーブルの編集」ボタンをクリックします。
- 11 「標準に戻す」ボタンをクリックします。
- 12 フォントのプロパティシートで、もう一度「標準に戻す」ボタンをクリックします。
- 13 「OK」をクリックして、Acrobat Distiller 3.0J のプロパティダイアログボックスを閉じます。

ポストスクリプトファイルを作成するには (Windows 95)

- 1 アプリケーションを起動して、ポストスクリプトファイルにプリントする書類を開きます。
- 2 ファイル／印刷を選択します。
- 3 プリンタのリストで Acrobat Distiller3.0J を選択し、「OK」をクリックします。
- 4 ポストスクリプトファイル用に、パス名と、拡張子 .ps を付けたファイル名を入力して、別名で保存する種類メニューですべてのファイル (*.*) を選択し、「OK」をクリックします。詳細はポストスクリプトファイルの命名を参照してください

ネットワーク上での Distiller の使用

Distiller では、ネットワークサーバにある特定のフォルダを監視するよう設定できます。Distiller は、そのフォルダにポストスクリプトファイルがないかどうかを定期的に調べます。監視フォルダにポストスクリプトファイルが保存またはコピーされると、Distiller は自動的にファイルを処理して「Out」フォルダに移動します。

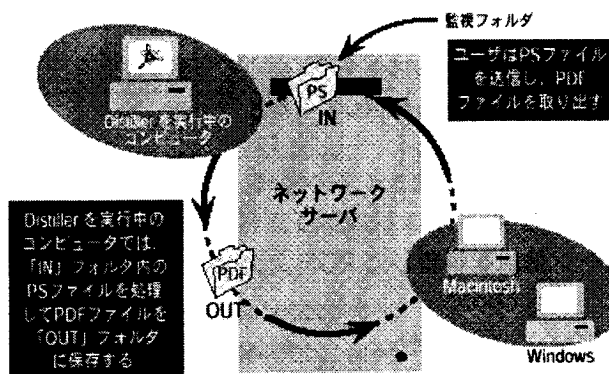
Distiller をネットワークで共有すると、メモリやディスクスペースなど、個々のコンピュータリソースを節約できます。

また、Distiller を使って自分のシステム上のフォルダを監視することもできます。

Distiller 監視フォルダダイアグラム

監視フォルダを使った PDF 作成以後は次号掲載します。

Distiller 監視フォルダダイアグラム



b obup_iy の 忘 備 録

HIROYASU. IWA I

アナログ回線とISDN回線の考察

プロバイダとパソコンを接続するには。アナログ回線ではモデムを使用するか、ISDN（デジタル）回線でDSUとTAを使用するかのもので二択です。

アナログ回線で双方向通信をする場合、デスクトップであれば据え置き型のモデムまたは拡張スロットに挿入するモデムボードを使用します。ノートパソコンであれば据え置き型のモデムかPCカードのモデムを選ぶ必要が有ります。

共通で使用できるのは据え置き型のモデムですが、電源とRS232Cに接続するケーブルが必要です。したがってノートパソコンを使用してインターネット等に接続するのであれば、電源もRS232Cに接続するケーブルも必要のないPCカードのモデムが必須です。モデムが内蔵されているパソコンを購入され、あまり気にせずインターネットにアクセスされているのが現状ですが、一般ユーザも通信スピードやパソコンのクロックに不満を持ち、だんだんとパワーユーザ化してきたようです。ISDN回線を利用する環境や高速のCPUを搭載したパソコンが安価に出まわり快適なパソコンライフも整いつつあります。

9月10日に発表が有りましたノートパソコンは、233MHzのMMXペンティアムCPUを搭載しWindows98を意識し動画にも対応しそうです。

ISDN回線で通信をする場合、DSUとTAが必要です。DSUとTAが一体化した据え置き型は、パソコンの設置場所に距離的な制限があり電源も必要です。DSUとTAがセパレートの据え置き型は、電源が要りますが自由度はウント増します。デスクトップの拡張スロットに挿入するTAボードは品種も少なく比較的高価で、取り外してノートに有効利用できません。デスクトップにPCカードスロット増設アダプタ（ファイルベイ用）かPCカードスロット増設ボードを装着すれば、前面、背面の違いは有りますがTAカードが利用できノートとの共有ができます。PCカードスロット増設によりPCIバスが増設できると同時にSCSIカードやLANカードなど数多くの周辺機器が利用できるようになります。又、PCカードスロット増設にかかる費用よりも多くの見返りが考えられ、パソコンの基礎知識も身に付けることができます。

二台目のパソコンはノートが主流と考えられますのでPCカードの導入を考慮して頂ければ私のこだわりもご理解いただけると思います。

モデム 対 TA は TAの勝と、結論づけたところで投稿ENDといたします。

1997. 9. 13 AM2:55 bobup_iy

岩井です。さっそくのメール感謝

またまた、お邪魔します。

1997/10/19（日）のSUGER-FOOT予想です。

今回はエクセルで作った表を配信しますが、

文字化けや罫線がどのようになるのか、まったく推測できません。

絶対負けぬ方法が一つあります、それは馬券をかわずに見るだけです。

でも面白くないですね、ここは辛抱です。

菊花賞に照準をあて待っていただきたいと思います。

上記の表が先日、配信したものです。

中西洋一氏からは、送ったものが返信で送り返されてきました。

神賀さん以外はアクションがありません。

早速の返事ありがとうございます。

		1	2	3	4	5	6
1R	枠番	3-4	3-5	1-3	4-5	4-8	4-7
	馬番	1-3	3-4	3-6	1-5	4-5	5-6
2R	枠番	2-8	7-8	3-8	2-3	3-5	4-5
	馬番	4-16	4-7	10-16	5-10	3-16	14-16
3R	枠番	4-6	6-8	4-8	2-4	4-7	2-7
	馬番	4-12	12-17	4-17	7-8	4-7	7-13
4R	枠番	4-8	2-6	6-8	3-8	3-5	5-8
	馬番						
5R	枠番	2-6	2-7	2-5	2-8	5-8	6-8
	馬番	2-7	7-11	7-10	2-10	2-11	2-3
6R	枠番	1-6	1-5	1-7	2-5	3-5	5-8
	馬番	6-8	1-6	1-8	6-11	5-6	6-10
7R	枠番	1-2	1-4	1-3	7-8	1-8	4-8
	馬番	1-3	1-14	1-4	3-8	3-6	3-4
8R	枠番	2-3	3-7	2-7	3-8	3-5	5-8
	馬番	3-6	6-9	2-6	3-5	2-3	3-7
9R	枠番	1-3	1-2	1-8	2-6	2-5	2-4
	馬番	1-5	3-5	5-11	1-16	1-15	15-16
10R	枠番	2-6	4-6	3-6	2-4	2-3	2-8
	馬番	3-11	4-11	8-11	3-16	3-7	3-8
11R	枠番	5-8	2-5	5-7	2-7	7-8	2-8
	馬番	10-17	4-10	10-15	9-10	9-11	9-15
12R	枠番	6-8	3-6	6-7	1-7	1-8	1-6
	馬番	9-11	7-11	5-11	11-16	14-16	11-14

エクセルの表はただ張り付けただけでしたが、今回は送信用のトレイに「挿入」[オブジェクト] からエクセルのシートを選び貼り付けるのではなく挿入しました。

手探りの実験に引き込み、大切な時間を割いて頂き有難うございました。

今回は⑦⑨⑩⑪⑫のレースに参加し¥2800のマイナスとなりました。

京都97年4回催初日より6日目までの結果は¥14000のプラスです。

見返りのある実践でPCを勉強しています。

出入 :HI
Mailアドレス :
bobup_iy@mbox.kyoto-inet.or.jp

中辻さん。

BIOS の Boot Up Floppy Seek を Enabled から Disabled で OK。

とのこと、なによりでした。(NECのBIOSはブラックボックス) 貴殿よりのメールについてですが、文字化けはありません。

しかし、メールと同じファイルが添付されて届きました。実害は何もありませんのでご安心ください。

快調に133MHzで動作しているようですね。

さて、皆さん。

先日、マイクロソフトよりダイレクトメールで2種類の押売りの通知が迷い込みました。

① Word + Excel + Outlook + 地図ソフト + 路線検索ソフト = 38000円

② Word + フォトレタッチソフト + はがき印刷ソフト = 9800円

以上ですが、すでにオフィス97を持っているものにとつては二重投資の感が否めません。

また、バグフィクスや機能アップの声も聞こえませんが嫌らしさが見え隠れしています。

これは、目の上のたんこぶ、ジャストシステム潰し、ステップ1かと邪推しています。

どのように、ステップ2、ステップ3とエスカレートするのか、観戦するのも見ごたえのあるバトルです。

さあ、一太郎さん年末までにガンバッテ反撃してください。

ユーザは大きな利益を得られるかも知れませんから。

取り止めもないメールですが、ストレス解消となりましたか???

DOS95の解説 (第6回)

tomoppy

この連載は本号で第六回となり、前号の会報(第123号)に「第三回」となっており、訂正のお願いと校正の不便をお詫びする。

前号にも伝えたように、本号で「DOS95の解説」を終わることになった。MS-Windows98が発売されたときに、DOS98の解説を予定しており、その時まで、お別れとなる。今回の連載を精読して戴いた皆さんにお礼を申し上げる。

22. SCANDISK

ScanDisk

ディスク修復プログラムを実行する。皆さんも結構、お世話になっているユティリティ・ソフトではないかと思う。小生は結構、使っている。Windows95の上でもwindowsが転けたとき、windowsを再起動し、ドライブのプロパティの中にある「ツール」のディスク修復プログラムを使って置くと深い傷にならずに、再インストールすることが防げる。小生は呪文のように多用している。

ドライブのチェックと修復を行うには、以下の書式を使う。

SCANDISK [ドライブ: | /ALL] [/CHECKONLY | /AUTOFIX [/NOSAVE]] [/SURFACE]

取り付けられていない DriveSpace圧縮ボリュームファイルのチェックと修復には:SCANDISK ドライブ:¥DRVSPACE.nnn [/CHECKONLY | /AUTOFIX[/NOSAVE]]

ファイルが断片化していないか調べるには:SCANDISK /FRAGMENT [ドライブ:][パス]ファイル名

以前行った修復を取り消すには:SCANDISK /UNDO [ドライブ:][ドライブ:]には、Undo ディスクの含まれているドライブを指定する。

/ALL 全ローカルドライブのチェックと修復を行う。
 /AUTOFIX プロンプトを表示せずに損傷を修復します。
 /CHECKONLY ドライブのチェックだけ行い、損傷は修復しない。
 /CUSTOM SCANDISK.INI ファイルの設定で ScanDisk を実行する。
 /NOSAVE /AUTOFIX と一緒に使い、破損クラスタを保存せず削除する。
 /NOSUMMARY /CHECKONLY か /AUTOFIX と一緒に使い、要約の画面で停止しない。
 /SURFACE 他のチェックの後にクラスタスキャンを実行する。
 /MONO ScanDisk をモノクロディスプレイで使うために設定する。

現在のドライブのチェックと修復を行うには、パラメータを指定せずに SCANDISK と入力する。

23. SELKCC

活動中の日本語入力システムを切り替える。

SELKCC [n] ["名前"] [/S]

n 切り替えたい日本語入力システムの番号を指定する。
 "名前" 切り替えたい日本語入力システムの名前を指定する。
 /S 現在登録されている日本語入力システムを一覧表示する。

※ 小生も使ったことがない。皆さん、如何ですか。使っている方があれば、ご一報を。

24. SORT

入力を並べ替えて、結果を画面やファイル、その他のデバイスに出力する。

SORT [/R] [/+n] [[ドライブ1:][パス1]ファイル名1] [>[ドライブ2:][パス2]ファイル名2]
 [コマンド |] SORT [/R] [/+n] [> [ドライブ2:][パス2]ファイル名2]

/R 逆順にします。Z から A, 9 から 0 の順で並べ替える。

/+n n 桁の文字にしたがって並べ替えをする。

[ドライブ1:][パス1]ファイル名1 並べ替えるファイルを指定する。

[ドライブ2:][パス2]ファイル名2 並べ替えた結果を保存するファイルを指定する。

コマンド 出力結果を並べ替えるコマンドを指定する。

25. SPEED

RS-232Cインターフェイスに対するパラメータの設定とその起動を行う。

SPEED [ポート番号 [パラメータ]]

ポート番号 起動する RS-232C のポートである。

RS232C-0またはR0 標準RS-232Cインター

フェイス

RS232C-1またはR1 RS-232Cインターフェイス拡張
ポート 1

RS232C-2またはR2 RS-232Cインターフェイス拡張
ポート 2

パラメータ ポーレート, キャラクタ長, パリ
ティチェック,

ストップビット数, Xパラメータを指定する。

関するパラメータである。

パラメータ 7 システムを起動するディスクドライブに関する
パラメータである。

パラメータ 8
ハイレゾリューションモードの数値データプロセッサの接続の有
無に関するパラメータである。

パラメータを省略した場合はメニューからの選択となる。

26. START

27. SUBST

バスをドライブ名に割り当てる。

SUBST [ドライブ1:[ドライブ2:]パス]

SUBST ドライブ1: /D

ドライブ1:バスを割り当てる仮想ドライブを指定する。
[ドライブ2:]パス

仮想ドライブを割り当てる論理ドライブとバスを指定す
る。

/D SUBST された仮想ドライブを削除する。

パラメータの指定がなければ, 現在の仮想ドライブの一
覧を表示する。

※ このコマンドを10年前に使っていた知人がいた
が, 小生はどうとう使うことが無かった。

28. SWITCH

メモリスイッチの内容を変更する。

SWITCH [RS232C-0[パラメータ1]] [PRINTER[パラメー
タ2]] [MEMORY[パラメータ3]]

[COLOR[パラメータ4]][[NDP1[パラメータ5]] [NDP2[パ
ラメータ6]] [BOOT[パラメータ7]] |
[NDP[パラメータ8]]]

パラメータ1 標準 RS232-C インターフェイスに関す
るパラメータである。

パラメータ2 プリンタに関するパラメータである。
パラメータ3 メインメモリのサイズに関するパラメー
タである。

パラメータ4
ディスプレイの文字列表示について規定値として使用す
る属性に関するパラメータである。

パラメータ5 V30
対応数値データプロセッサの接続の有無に関するパラ
メータである。

パラメータ6
ノーマルモードの数値データプロセッサの接続の有無に

29. SYS

MS-DOS システムファイルとコマンドインタープリタを指定され
たディスクに
コピーする。

SYS [ドライブ1:][パス] ドライブ2:

[ドライブ1:][パス] システムファイルの場所を指定する。
ドライブ2: コピー先のドライブを指定する。

30. USKCGM

ユーザー定義文字を作成してファイルに保存したり,
システムやプリンタに登録する。

USKCGM [[ドライブ:][パス]ファイル名] [/P]

ファイル名 ユーザー定義文字を格納するファイルである。
/P 指定したファイルのユーザー定義文字をプリンタに登
録する。

パラメータを省略した場合はメニューからの選択となる。

31. XCOPY32

32ビット・バイトをファイルやディレクトリをまとめてコピーす
る。

XCOPY32 送り側 [受け側] [/A | /M] [/D:日付] [/P] [/S] [/E]
[/W]

[/C] [/I] [/Q] [/F] [/L] [/H] [/R] [/T]
[/U]

[/K] [/N]

送り側 コピーするファイル(複数可)を指定する。

受け側 新しいファイルの場所と名前を指定する。

/A アーカイブ属性のファイルをコピーします。属性
は変更する。

/M アーカイブ属性のファイルをコピーします。アー
カイブ属性は解除される。

/D:日付 指定された日付以降に変更されたファイルをコ
ピーする。

日付を指定しない場合は, 送り側が受け側より新しいファイルだ

けがコピーする。
 /P 受け側のファイルを作成する前にプロンプトを表示する。
 /S 空のディレクトリを除いて、サブディレクトリもコピーする。
 /E 空のディレクトリも含めて、すべてのサブディレクトリをコピーする。
 /S /E と同じ意味です。/T と同時に指定できる。
 /W コピーする前にキーを入力するためのプロンプトを表示する。
 /C エラーが起きてもコピーを続ける。
 /I 受け側がなく、複数のファイルをコピーする場合、受け側をディレクトリとしてコピーする。
 /Q コピー中にファイル名を表示しない。
 /F コピー中に受け側と送り側のパスおよびファイル名を表示する。
 /L コピーするファイルを表示する。
 /H 隠しおよびシステム ファイルもコピーする。

/R 書き込み禁止ファイルも上書きする。
 /T ディレクトリだけ作成してファイルはコピーしない。
 空のディレクトリは作成されません。/T /Eを指定すると、空のディレクトリも作成される。
 /U 受け側にあるファイルを更新する。
 /K 属性をコピーします。通常、書き込み禁止属性は解除される。
 /Y 確認のプロンプトを表示せずにファイルを上書きする。
 /-Y ファイルを上書きするか確認するためのプロンプトを表示
 /N 短いファイル名を使ってコピーする。

32. COPY

「COPY32」コマンドのオプションと同じにつき、説明を省略する。

— 完 —

隣接地域への電話接続料金が安くなる。

Tomoppy

internetwire 配信の転載 ---

NTTが隣接区域通話料金を3分10円に値下げ

NTTは、隣接区域・20キロメートルまでの区域内通話料金を3分10円とする新サービスについて、郵政大臣に認可申請を行ったことを明らかにした。

新サービスの名称は「エリアプラス」となる予定。月に定額料金200円を支払うことによって、現在3分20円となっている隣接区域・20キロメートルまでの通話料金が、昼間は3分10円、深夜・早朝は4分10円となる。

NTTによれば、サービス開始は12月上旬を予定しており、認可が下り次第予約販売を開始するという。また、今回適用されるのは一般ダイヤル通話だが、ISDNについても'98年夏のサービス開始を目標に準備を進める。

NTT

<http://www.nttinfo.ntt.co.jp/>

当研究会の会報などの電子化書類の提案

Tomoppy

事務局移転にともなって、当会の発足以来の足跡である会報および各種書籍の整理について事務局から個人的に悩んでおられることを聞いた。

そのとき、直観的に思いついたのが、DTP編集ソフトで有名

な米国アドベ社が開発して流布していたPDFファイル形式の電子書籍であった。小生が最初にPDFファイルに接したのは、昨年、インターネットをアクセス始めたときに、半導体素子の性能規格を知る必要が生じ、某半導体メーカーのサイトであった。一つの小粒の半導体素子の規格や電気特性表、グラフを電子ファイルで提供するサービスなされていることに驚いたのであった。このようなサービスが国内メーカーでもあるのか調査したところ、ソニーが英語版で提供しているのみであった。

その疑問が今春に日本語版アクロバットが発売されて氷解したのであった。それは日本語全角文字の文章ファイルがPDFファイル形式へ生成するソフトが開発されたのである。その発売によって各雑誌にも話題が盛り上がり、PDFファイル形式の電子書籍化への関心が高まったのである。国内のサイトでも掲載されるようになった。

その機会に、当会の9月例会に紹介し、10月例会にアドベ社の無償配布されている「アクロバット・リーダ」を使って、幾つかのPDFファイル形式のデータのサンプルを実演して認識を広めた。

その結果、早速に、増田さんが「ページメーカー」に付加されている機能を利用してサンプルを電子メールで配信された。

次に、工学図書から発行された「日本語PDF + Acrobat 入門」を読んだ感想は、PDFファイルの紹介とその用途など解説に始まり、MACマシン用のソフトを基軸にアドベ社の次のようなソフトを使った、非常に実用的な説明で読み易い内容であった。また、PDFファイルが存在している世界の主なサイトが紹介したリストがあった。

1. Acrobat Reader 3.0J

無償で提供されるPDFファイルを見るのに必須のアプリケーションである。これは雑誌の付録CD-ROMに収録されている。

2. Acrobat Distiller 3.0J

次に列挙するアプリケーションの中から、プリンターへ印刷する指示をするように、予め、PDF ファイル形式へ変換する機能をアドインすることにより、各アプリケーションの印刷ダイヤログに出るプリンタ選択リストの窓から「PDF 変換」仮想プリンタを決定すると PDF ファイルを生成する。

Adobe PageMaker 6.0J

MS-Word 6.0J

MS-Excel 5.0J

MS-PowerPoint 4.0J

Adobe Illustrator 5.5J

Netscape Navigator 3.01 Ja

3. Acrobat Exchange 3.0J

作成した PDF ファイルを修正したり、追加する編集するアプリケーションである。

以上、単行本の紹介をしたが、アドベ社からは MS-Windows 95 において日本語環境で使用できる「Adobe Acrobat 3.0J」が発売されている。

終わりに、当会の貴重な過去のドキュメントを散逸しないように、是非とも紹介した「PDF ファイル形式」の電子ドキュメント化を実現して長期保存とコンパクトな容積に整理整頓されることを希望すると同時にご賛同を得たく、PDF ファイルの紹介をした。

追伸 b obup_iy の 忘 備 録

HIROYASU. Iwai

97.10.25 am1:45 bobup.iy

Outlook のhelpに記載されている方法でエクセルのシートをお届けいたします。

既存の Excelワークシートを配信

- ① 受信トレイ
- ② 作成
- ③ 新しいメッセージ
- ④ メッセージ欄にカーソル移動
- ⑤ 挿入
- ⑥ オブジェクト
- ⑦ ファイルからマークを入れる
- ⑧ 参照から既存のファイルを選択
- ⑨ OK
- ⑩ ツール
- ⑪ 送信
- ⑫ 新しいメッセージの確認

上記の手順どうりにしたつもりですが不配信になれば堪忍してください。

この方法での配信にはファイル名の施し用がありません。また、リンクやアイコンを指定するチェックボックスはデフォルトのままでチェック印を入力していません。

下記の表は、97.10.25 京都競馬場で発売されていますが、買う買わないは貴方の自由です。当方での損失補填は一切いたしません。御利益を受けられた方は、御布施を京都マイコン研究会にすすでお願いいたします。もしも、御布施がありましたら、増田氏が仕事をわずれ打ち込んでおられます 20 周年記念行事の費用の一部にでもなればと思っています。

97.10.25	京 都	1	2	3	4	5
1R	枠 番	5-8	3-8	1-8	5-7	1-5
	馬 番					
2R	枠 番	2-6	2-5	2-4	5-6	4-6
	馬 番	2-9	2-6	2-10	9-11	6-9
3R	枠 番	4-8	4-5	1-4	3-4	1-3
	馬 番	8-15	6-8	7-8	9-15	2-15
4R	枠 番	1-8	5-8	2-8	4-8	2-4
	馬 番	1-11	1-4	1-5	5-11	4-11
5R	枠 番	5-7	1-5	5-6	3-6	3-7

差出人 : HI

Mailアドレス : bobup_iy@mbox.kyoto-inet.or.jp

SUGER.xlsのアイコンは、リンクとアイコンにチェック印を入力して作成したものです。

岩井さんへ

今回の、エクセルの張り付けファイルは前回のように表示画面全てのシートが張り付けされていなく編集作業が楽でした。エクセルをインストールされていない方には仮想でしか見られないようですので画像化しての添付ファイルと一緒に送信された方が親切のようです。せっかくのチャンスを見逃すかもね。岩井さん期待して、当日待っています。(増田)

パソコンイベント場所

パソコンイベント場所

(テント3 3階り内)

10800

3600

コンピュタ教室

京福電線

ボード

パーソナルコンピュータ
利用技術協会
京都支部

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

2700 2700 4500

○印 ～ テントの支柱

(社) パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会 祝 創立20周年記念併催事業

京都支部 京都マイコン研究会

パソコンイベント開催

日時 1997年11月3日(祭) 午前10:00～午後4:00まで

場所 京都府八幡市八幡市役所周辺

設置 八幡市工業部会コーナ

名称 (社) パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会創立20周年併催事業
京都支部

実行委員長 若林 実

副実行委員長 若井 征夫

事務局 増田 則雄

事業内容 「パーソナルコンピュータ利用技術認定試験 案内コーナ」認定試験／

「パソコン相談コーナー」京都マイコン研究会入会案内受付

「パソコンクリニック」その場で治療

「インターネットデモHTMLディスク無料配布」

「デジカメシール」デジタルカメラで撮影パソコン処理加工カラープリンターでシール作成／配布

「インターネットデモ」エジソン生誕150年記念発明王エジソンの功績

「インターネットデモ」山城八幡の史跡と道標

「発明王トーマス・アルバー・エジソンの生誕記念ポスターの無料配布」京都エジソン協会提供

当日は、凄い混雑が予想されますので準備のお手伝いをしていただける方は
連絡下さい。(事務局まで)

準備予定人員 若林、若井、増田、中村、大塚

この人数ではとても足りません。アルバイトの人数の都合もありますので早
い目にご連絡下さい。

今回の開催の主旨

事務局 増田則雄

私たち、(社) パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会京都支部京都マイコン研究会は、ここ数年来のパーソナルコンピュータの急激な変化に伴い数々の講習会や講演を通じて知り得た知識を公に伝えるという使命。これを今回のイベントを通じて幾分かでも伝えたいと思っています。

今や、全ての人がパソコンに接しなければならないという時代に直面しています。ウィンドウズ以前のようなマニアックな世界とその考え方を捨て去らなくてはならないのです。

「私だけが、私達だけが」では無く、「貴方も、皆さんも」どうぞパソコンを利用して下さい。「このような利用の仕方がありますよ」、「こうなればこの様にすれば良いですよ」というアドバイスが出来る立場にいる私達は何もアクションを起こさない事では己に恥じるばかりですよね。また、流れの無い水は濁り、新しい場所にも辿り着くはずありません。

そこで、協会の20周年記念に伴う併催事業の一環とアクションのある会を目指して京都事務局として、今回の行事に参加させていただく事になりました。地域性のあるどのような場でもやるとやらないでは大きな違いがあります。年を行くと口が先んじますが「動かない／公に接しない／アピールしない」というマニアックな世界の悪しき体制が芽生えない内に新鮮な風を受け止めるのも良いかと思います。全会員の参加を期待し、今回のイベントで皆さんがリフレッシュして頂くことを切望いたします。